



各位

2020年8月6日

上場会社名 株式会社神戸製鋼所  
 代表者 代表取締役社長 山口 貢  
 (コード番号 5406)  
 問合せ先 コーポレート・コミュニケーション部長  
 中森 慶太郎  
 (TEL 03-5739-6010)

### 業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)の連結・個別業績予想及び配当予想の修正について、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 業績予想の修正について

2021年3月期第2四半期連結累計期間 連結業績予想数値 (2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	-	-	-	-	-
今回発表予想(B)	770,000	△ 50,000	△ 60,000	△ 35,000	△ 96.49
増減額(B-A)	-	-	-	-	
増減率(%)	-	-	-	-	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	944,464	7,443	1,493	△ 6,281	△ 17.32

2021年3月期通期 連結業績予想数値 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	-	-	-	-	-
今回発表予想(B)	1,640,000	△ 35,000	△ 60,000	△ 35,000	△ 96.49
増減額(B-A)	-	-	-	-	
増減率(%)	-	-	-	-	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	1,869,835	9,863	△ 8,079	△ 68,008	△ 187.55

2021年3月期第2四半期累計期間 個別業績予想数値（2020年4月1日～2020年9月30日）

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	-	-	-	-
今回発表予想(B)	410,000	△ 55,000	△ 30,000	△ 82.56
増減額(B-A)	-	-	-	
増減率(%)	-	-	-	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	501,612	1,907	179	0.49

2021年3月期通期 個別業績予想数値（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	-	-	-	-
今回発表予想(B)	880,000	△ 60,000	△ 30,000	△ 82.56
増減額(B-A)	-	-	-	
増減率(%)	-	-	-	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	995,447	△ 14,269	△ 48,759	△ 134.22

業績予想の概要

2020年5月11日公表の「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」では、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大による当社グループの業績への影響を合理的に算出することは極めて困難であることから、2020年度の業績予想は未定としておりました。

その後、2020年5月25日に緊急事態宣言が全面的に解除され、経済活動は徐々に再開しつつあるものの、新型コロナウイルス感染症の収束時期は依然として不透明な状況です。このような状況ではありますが、現時点において入手可能な情報をもとに一定の想定を置いた上で、業績予想を算出いたしましたので公表いたします。

新型コロナウイルス感染症の影響による需要減少に伴い、素材系事業を中心に販売数量の大幅な減少が見込まれることから、当期の連結業績は、売上高は1兆6,400億円程度、営業利益は350億円程度の損失、経常利益は600億円程度の損失、親会社株主に帰属する当期純利益は350億円程度の損失と見通しております。また、個別業績については、売上高は8,800億円程度、経常利益は600億円程度の損失、当期純利益は300億円程度の損失と見通しております。

業績予想の詳細については、本日公表の「2020年度第1四半期決算説明資料」の記載も合わせてご覧ください。

## 2. 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (2020年5月11日発表)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
今回修正予想		0.00	—	—	—
当期実績	—				
前期実績 (2020年3月期)	—	0.00	—	0.00	0.00

### 修正の理由

当社は、配当につきましては、継続的かつ安定的に実施していくことを基本としつつ、財政状態、業績の動向、先行きの資金需要等を総合的に考慮して決定することとしております。これに基づき、当期の中間配当につきましては、今回公表した業績予想において、上期、通期ともに親会社株主に帰属する当期純損失を計上する見通しであることを踏まえ、誠に遺憾ながら見送る方針を決議いたしました。

なお、期末配当につきましては、予想額を未定としております。

(注)上記の業績予想につきましては本資料の発表日現在において、入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上